

平成20年5月30日

各位

高鍋信用金庫
理事長 井手口 健二

お客様情報が記録された伝票綴りの紛失について

このたび、誠に遺憾ながら、当金庫の営業店において保管しているお客様情報が記録された伝票綴りを紛失していることが判明いたしました。

このような事態を招きましたことは誠に申し訳なく、お客様をはじめ関係各位の方々に、多大なご迷惑、ご心配をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

現時点で、紛失物は発見されていませんが、徹底的な調査を行った結果、営業店において誤って廃棄した可能性が高いと判断しております。

役職員一同、今回の事態を厳粛に受け止め、情報管理体制の再構築および職員の啓発教育を徹底し、お客様情報の管理に全力を挙げて取り組む所存でございます。何卒ご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

1. 対象総先数

約33,590先

2. 紛失した伝票綴りに記録されたお客様情報（伝票の内容により異なります。）

氏名、住所、生年月日、電話番号、口座番号、お取引金額等

該当店舗・紛失期間等

小林支店（平成9年6月16日から平成9年7月22日迄の26日分・・・約4,100先）

飯野支店（平成9年7月29日から平成9年9月22日迄の39日分・・・約4,000先）

旧真幸支店（平成10年12月1日から平成12年3月31日迄の321日分・・・約25,300先）

上町支店（平成9年11月19日分の1日分・・・約190先）

3. 紛失の経緯

「個人情報に係る一斉点検の実施」として、伝票綴り、回収証書綴りの確認作業を行ったところ、上記4店舗において伝票綴りを紛失していることが判明したものです。その後徹底的な調査を続けておりますが現時点まで発見されておらず、平成17年10月17日の旧西諸信用金庫との合併に伴う事前整理の際に誤廃棄（溶解処分）した可能性が極めて高いと考えます。

4. 外部流失への可能性

これまでに本件に関する問合せ、第三者による悪用、当金庫への不正要求などの問題は一切発生しておりません。したがって、現時点では情報が外部に漏えいした可能性は極めて低いと考えております。

5. 再発防止とお客様対応

本件発生の原因については、営業店における個人情報の保管管理が不十分であったことによるものであり、再発防止策を講じ取扱いの厳正化を図ることとしております。

また、本件に係るお客様からのお問い合わせについては、下記において対応することとしております。

以上

本件に関するお問い合わせ

高鍋信用金庫	担当（川畑・朝倉・町元・黒木）
フリーダイヤル	0120-920-820, 0120-960-905
受付時間	午前9時から午後5時まで（土・日・祝日は除きます） （5月30日から6月30日まで）